



東京武蔵村山ロータリークラブ No. 2149

Weekly Report



第2150回例会 2016年10月30日 国際ロータリー第2580地区 第45代クラブ会長
2016～17年度RI会長 ジョンF.ジャーム 2580地区多摩分区ガバナー 上山 昭治 内野 均

東京武蔵村山 RC テーマ 「一期一会・親睦こそクラブの活力源」 友人を作り充実したロータリーライフを

本日の例会

デエダラまつり
10/29(土)・10/30(日)
真如苑プロジェクト用地

2016～17年度 RI テーマ



人類に
奉仕する
ロータリー

次回の例会

全員クラブ協議会

【第2149回例会週報】

第2580地区多摩分区 I M テーマ：カントリージェントルマン 「我が街・ここが自慢です」 フォレストイン・昭和館



ご挨拶 石川 彌八郎 ガバナー補佐

多摩分区のロータリアンの皆さん、多摩の人間であることに誇りを持たれよ。

歴史的に考察してみましよう。1602年家康が江戸に来て以来今日まで、江戸、東京の発展は目覚ましい。実は、その発展を陰で支えていたのは多摩の資源でした。多摩地区には、江戸の都市形成に必要な資源の全てが揃っていたのです。多摩川から取水された玉川上水は町人の重要な飲料水であった。木材は西多摩から、薪炭材は武蔵野のクヌギ林から、石灰は五日市から、近代に入り、鉄筋コンクリートの砂利は多摩川の河原から...

我々、第2580地区の多摩分区は、そのような世界の東京を支えてきたこの多摩地域でロータリー活動を行っています。我々多摩分区のロータリアンは、この、のどかな地域で、天職ともいふべき自らの職業に打ち込むことにより社会に貢献をしています。そして、その社会活動の経験から、知識を蓄積し、人格を磨き、その地域において相談甲斐のある人間「あの人の言うことなら間違いはない」と言われる人物、更に、国家の一大事に役立つ人物を目指す。これが多摩分区のロータリアンにふさわしい生き方であると考えました。そのような生き方を、イギリスでは「カントリージェントルマン」と呼びます。

このカントリージェントルマンと云う生き方に今回のI・Mでは焦点を当て、各クラブでその地域の特徴、名物名産を交え、各クラブなりのカントリージェントルマンとしての生き方を議論してもらい、それを発表してもらうことに致しました。青梅には青梅なりの、東村山には東村山なりの、東大和、武蔵村山、秋川、福生、各地に各地なりのカントリージェントルマンとしての生き方があることでしょう。本日はそれを発表して頂きます。

基調講演では、二人の名人をお迎えして、日本の伝統芸「日本の話芸」をお楽しみ頂きます。また、懇親会での、横田基地のメンバーによるゴスペルライブもお楽しみに。

本日ここに、その多摩分区のI・Mにあたり、第2580地区ガバナー上山昭治様、地区幹事田中永二様をはじめ、多くのご来賓の皆様にご出席を頂きました。また、福生クラブの会員令夫人のご協力にも、重ねて心より感謝いたします。



開会点鐘
木村 敦史 ホストクラブ会長



国家斉唱及び「奉仕の理想」
岡田 文尋 ソングリーダー



参加クラブ紹介



来賓・地区役員紹介



多摩分区 会長・幹事



講演「米山梅吉物語」
一齋齋 貞花 師匠



基調講演 謝辞
石川 彌八郎 ガバナー補佐



意見発表
東京武蔵村山RC 嶋田 哲男 幹事



講評
鈴木 喬 カウンセラー パストガバナー



感想
上山 昭治 ガバナー



次期ホストクラブ挨拶
東大和RC 浦川 哲男 会長



直前ガバナー補佐・幹事記念品贈呈



東京上野RCより
地区大会について



オンツアトランタについて
斉藤 章浩 様



希望の風奨学金について
橋本 恵治 様



懇親会挨拶
石川 彌八郎 ガバナー補佐



役員による鏡開き



Sounds of Faith ゴスペルライブショー



会長同士で乾杯！



幹事同士で親睦をはかる



親睦こそクラブの活力源！



懇親会で“出会いを大切に”



懇親会で“お酒を大切に”



IM副実行委員長 杉本 直 様(ガバナー補佐と共に)

創立 1972年7月8日	承認 1972年7月20日	スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
会長 内野 均	幹事 嶋田 哲男	副会長 波多野晃夫
クラブ会報委員長 志々田 陽介	副委員長 原田 友義	委員 小澤 秀人 薄井 政光 堀田 弘一郎 篠原 幸宏